

佐賀の海洋プラスチックの取り組みを世界へ

海外の行政官が PLA PLA で海洋プラスチック問題の現状と対策を学ぶ

独立行政法人国際協力機構（以下、JICA）は、海洋プラスチック汚染対策に携わる行政官ら 9 か国 9 名を対象に、10 月 13 日（火）から 15 日（木）まで、佐賀県内で研修を行います。参加者は、世界海洋プラスチックプランニングセンター（愛称「PLA PLA（プラプラ）」）で、講義、施設見学、実習に参加します。玄界灘の漂着ごみや生態系への影響を通じ、海洋プラスチック問題の現状と対策への理解を深めます。15 日には、佐賀県庁で引馬副知事を表敬します。

- 玄界灘から世界の海洋プラスチック問題を考える

参加者は、玄界灘の漂着ごみを手掛かりに、世界的な海洋プラスチック問題や生態系への影響を学びます。あわせて、回収、処理、再生など、プラスチック汚染対策について理解を深めます。

- 学びを行動につなげる PLA PLA の取組

PLA PLA での講義、施設見学、実習に参加し、海洋プラスチック問題を分かりやすく伝え一人ひとりの行動につなげるための工夫や、佐賀県の取組に触れます。

- 佐賀県の政策が 9 か国での行動へ

15 日には、佐賀県庁で引馬副知事を表敬し、佐賀県の政策を学びます。参加者は、佐賀で得た知見や技術を、自国の課題解決に向けた制度の改善や地域の取組に、どのように生かせるかを考えます。

当日は、講義・実習や視察の様子に加え、日本との協働や将来の共創への期待について、研修員へのインタビュー対応も可能です。なお、当日は逐次通訳（日⇄英）を配置します。

<取材可能な日程>

日付	時刻	プログラム内容	形態	場所
10月13日(火)	13:00-15:00	PLA PLAのミッション、 玄界灘の漂着ごみと生態への影響(仮称)	講義	PLA PLA
10月14日(水)	09:00-13:00	海岸清掃、海洋プラスチックの処理工程、展示施設、環境教育	実習 見学	PLA PLA
10月15日(木)	09:30-09:45	引馬副知事への表敬	表敬	佐賀県庁
	09:45-10:30	佐賀県のPLA PLAに係る政策について	講義	佐賀県庁

・ご移動は各自でお願いします。

<研修概要>

研修名	課題別研修「効果的なプラスチック汚染対策とリサイクル -プラスチック条約を受けた日本の知見の世界への展開-」
全体期間	2026年10月4日(日)～10月31日(土)
参加者(予定)	9か国・9名。主にプラスチック汚染対策に携わる行政官等
参加国(予定)	カンボジア、インド、リベリア、ナイジェリア、南スーダン、スリランカ、スーダン、東ティモール、ベトナム

<取材申込方法>

取材をご希望の方は、10月9日(金)までに以下問い合わせ先(山口)までご連絡ください。

■独立行政法人国際協力機構(JICA)について

JICAは、開発途上国が直面する課題を解決するため、技術協力、有償資金協力、無償資金協力など日本の政府開発援助(ODA)を一元的に担う二国間援助の実施機関で、150以上の国と地域で事業を展開しています。

国際社会の課題は九州とも密接に関係しています。国内外のパートナーと協力してそれらの解決に取り組み、世界の平和と繁栄、九州と日本社会の更なる発展に貢献します。

詳しくは<https://www.jica.go.jp/index.html>をご覧ください。

【本件に関する問い合わせ先】	
◆JICA九州 研修業務課 山口 博之 TEL 080-7139-1749 E-mail: Yamaguchi.Hiroyuki@jica.go.jp	◆佐賀県庁への問い合わせについて 脱炭素社会推進課 吉武様、荒牧様 内線 1873 直通 0952-25-7079 E-mail: datsutansosuishin@pref.saga.lg.jp